

基本施策Ⅱ：【農業】効率的で安定的な農業経営体への育成

個別施策5：女性農業者の育成と活躍できる環境整備

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値
認定農業者における女性農業者の割合	%	4.0	4.5	5.3	5.9	6.5	6.4	7.0

主な事業	R 元年度計画	R 元年度実績	担当課
------	---------	---------	-----

1. 女性農業者の人材育成

① 農業経営や地域で活躍できる女性農業者の育成	女性農業者リーダー養成事業 本格就農した女性農業者に対して、農業経営の将来像となる経営ビジョンの策定及び行動計画の作成を行う研修等に対して支援を行う。	女性農業者リーダー養成事業 （経営発展支援事業） 女性農林漁業者が自らのキャリアを活かして経営に参画するため、キャリアアッププランの作成に対して支援を行った。 （県事業 3回実施 延べ参加者 6人）	農政課
	新規就農女性ネットワーク研修 就農間もない農業者を対象に、先輩農業者の講演や交流会を開催し、意欲向上や女性農業者間の関係構築を支援する。 （普及センターとの連携事業） ・若手女性新規農業者を対象に交流を目的としたランチミーティングや先進地視察、講座等の農業経営に関する知識を習得するため、H31年度は全6回の講座を予定している。（予算：260千円）	新規就農女性ネットワーク研修 ・女性の新規就農者のためのネットワーク構築を目的とした県の新規就農ネットワーク研修会への参加に対して支援を行った。（参加者 18人） ・若手女性新規農業者を対象に交流を目的としたランチミーティングや先進地視察等、農業経営に関する意識の向上に取り組んだ（5回実施 延べ参加者 25人） （事業主体：市農業振興協議会）	
	女性農業者活動支援事業 女性農業者のグループが実施する研修会等の活動に対し補助を行う。 （予算：400千円）	女性農業者活動支援事業 女性農業者のグループが実施する研修会等の活動に対し補助を行った。 （補助実績 1件 42千円）	
	認定農業者への申請の推進 家族経営協定と認定農業者の共同申請を周知・推進するチラシ等を用い、研修会や認定農業者の相談会等で推進を図る。	認定農業者への申請の推進 家族経営協定と認定農業者の共同申請を周知・推進するチラシを用い、研修会や認定農業者の相談会等で推進を図った。	
	女性農業者の活躍促進事業 女性農業者が起業を目指し、商品開発や販路開拓等を行う際に支援を行う。 ・補助率：県 1/2、市 1/20 （予算 1,100千円）	女性農業者の活躍促進事業 女性農業者が起業を目指し、商品開発や販路開拓等を行う際に支援を行うもの。 （実績なし）	

①

農業経営や地域で活躍できる女性農業者の育成

2. 女性農業者が活躍できる環境の整備

家族経営協定の推進 認定農業者・新規就農者の相談会や研修会等で家族経営協定制度や事例について紹介するなど、締結や見直しについて推進する。	家族経営協定の推進 認定農業者・新規就農者の相談会や研修会等で家族経営協定制度や事例について紹介し、協定の推進を図った。 ・新規締結 14 件 計 458 件 (久 159、田 88、北 108、城 61、三 42)	農政課
農業団体への啓発 各種協議会や農業団体の長に対し、リーフレット等を使って男女共同参画の啓発を行う。	農業団体への啓発 各種協議会や農業功労者の推薦の依頼時に、各農業団体の長に対し、リーフレット等を使って男女共同参画の啓発を行った。	
女性農業者の実態調査 令和 2 年度に実施予定のため、調査に向けて内容の検討を行う。	女性農業者の実態調査 5 年に 1 回実施。次回は令和 2 年度。	

【基本施策Ⅱ「効率的で安定的な農業経営体への育成」：R2 年度施策の方向性】

基幹的な担い手である認定農業者や集落営農組織等が、効率的かつ安定的に営農できるよう、県や農業団体と連携し、農業経営改善計画の作成支援や農政情報や農業経営に活かせる研修会等を開催するなど、経営改善や組織力強化・労働力確保に係る支援を行い、地域農業を牽引する優良経営体を育成します。

次世代の担い手の確保・育成については、SNS やインターネット等を活用して農業の魅力を発信することで本市での就農意欲を高めるとともに、就農後、早期に安定した経営基盤を確立するため、県や農業団体等と連携を図り、就農前の知識や技術の習得支援をはじめ、就農に向けた個別相談や就農後の経営力が向上するまでの継続した支援に取り組みます。

女性農業者の育成については、県や普及指導センター等と連携し、女性農業者のネットワーク構築に向けた研修会に開催や経営参画に向けたキャリアアップを図るための支援を行います。また、認定農業者の共同申請や家族経営協定などについて、女性農業者の実態を調査するとともに、相談会や研修会等で周知・啓発を図るなど、男女共同参画に向けた意識向上を図ります。

今後は、次世代の担い手や女性農業者の育成を引き続き進めながらも、労働力不足を解消するため、障害者や高齢者等の就労を目指す農福連携の推進や、外国人の受入れ農家の支援など、多様な人材を確活用について、県・市・農業団体と連携を図りながら取り組んでいく。

基本施策Ⅲ：【農業】競争力のある産地の育成

個別施策6：生産力の強化

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値
主な野菜・果樹の収穫量	トン	25,122 (H24年産)	32,975 (H25年産)	30,096 (H26年産)	33,536 (H27年産)	31,545 (H28年産)	28,169 (H29年産)	26,400

主な事業	R元年度計画	R元年度実績	担当課
------	--------	--------	-----

1. 機械等の導入・整備支援

① 生産施設や機械等の整備	活力ある高収益型園芸産地育成事業 先進技術や省力機械・施設等の整備を進め、収益性が高い園芸産地の育成を図る。 ・補助率：県 1/2 又は 1/3、市 1/20 ・予算 67 件、事業費 705,544 千円、 （県補助 271,353 千円、市補助 32,699 千円） ・内容：パイプハウス及び附帯施設、播種・施肥用機械など予定	活力ある高収益型園芸産地育成事業 先進技術や省力機械・施設等の整備を進め、収益性が高い園芸産地の育成を図った。 ・補助率：県 1/2 又は 1/3、市 1/20 ・補助実績 58 件、事業費 437,169 千円 （県補助 169,865 千円、市補助 19,844 千円） ・内容：パイプハウス及び附帯施設、播種・施肥用機械など	生産流通課
	経営体育成支援事業（融資主体型補助） 機械や施設整備の際の融資残の自己負担分について助成する。 ・補助率：国 3/10 ・予算 4 件、事業費 33,000 千円 （国補助 10,000 千円） ・内容：トラクター、乾燥機など	強い農業・担い手づくり総合支援交付金（地域担い手育成支援タイプ） 施設整備の際の融資残の自己負担分について助成した。 ・補助率：国 3/10 ・補助実績 1 件、事業費 5,156 千円 （国補助 1,431 千円） ・内容：トラクター、動力噴射機など	
	強い農業づくり交付金 規模拡大に繋がる生産施設等の整備に対して支援を行う。		
	産地パワーアップ事業費補助金 高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組を支援する。 ・補助率：国 1/2 等、市 1/20 ・予算 31 名 56 件、事業費 1,240,387 千円 （国補助 574,240 千円、市補助 57,402 千円） ・内容：産地化に必要な低コスト耐候性ハウス整備など	産地パワーアップ事業費補助金 高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組を支援した。 ・補助率：国 1/2 等、市 1/20 ・補助実績 27 名 45 件、事業費 844,873 千円 （国補助 384,031 千円、市補助 38,394 千円） ・内容：産地化に必要な低コスト耐候性ハウス整備など	
	【新規】農業用ハウス強靱化緊急対策事業 災害による農業用施設等の損壊を防ぐため、施設の補強等に対して支援を行う。 ・補助率：国 1/2 等、市 1/20 ・予算 9,680 千円	実績なし	

主な事業		R 元年度計画	R 元年度実績	担当課
① 生産施設や機械等の整備	水田農業担い手機械導入事業 大区画ほ場条件に対応する高性能機械の導入に対して支援する ・ 補助率：県 1/3、市 1/6 ・ 予算 38 件、事業費 379,875 千円 （県補助 117,230 千円、市補助 58,634 千円） ・ 内容：土地利用型農業のトラクター、コンバイン、田植機、乗用管理機等	水田農業担い手機械導入事業 大区画ほ場条件に対応する高性能機械の導入に対し支援した。 ・ 補助率・ 県 1/3、市 1/6 ・ 補助実績 16 件、事業費 105,441 千円 （県補助 32,338 千円、市補助 16,179 千円） ・ 内容：土地利用型農業のトラクター、コンバイン、田植機、乗用管理機等	生産流通課	
	ふるさと農業活性化対策事業 生産組織の育成、環境負荷の低減、先導的技術導入に対して支援する。 （予算 1,800 千円）	ふるさと農業活性化対策事業 生産組織の育成、環境負荷の低減、先導的技術導入に対し支援した。 ・ 補助実績 6 件 1,962 千円		
	制度資金の利子補給 農業経営体育成資金（スーパー L）や農業近代化資金を活用して機械等を導入する場合の利子の助成、及び災害復旧に対する利子助成を行う。	制度資金の利子補給 農業経営体育成資金（スーパー L）や農業近代化資金を活用して機械等を導入する場合の利子の助成、及び災害復旧に対する利子助成を行った。 （利子補給実績） ・ L 資金実績：17 件、331 千円（市 1/2） ・ 近代化実績：1 件、1 千円 ・ 災害復旧実績：1 件、2 千円 ・ 稲作経営実績：4 件、14 千円	農政課	
2. 有害鳥獣対策				
朝倉広域鳥獣被害防止計画（H30～R2）に基づき、被害防除、生息環境の管理、団体数調査などの有害鳥獣被害防止対策を総合的かつ計画的に推進する。				
	久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会支援事業費 5,500 千円、市補助 3,650 千円	久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会支援事業費 4,925 千円、市補助 3,650 千円 （主な捕獲実績 イノシシ 243 頭、カラス 483 羽）	みどりの里づくり推進課	
	鳥獣被害防止総合対策整備事業 市内の農林産物をイノシシ、カラス等の被害から防除するため、電気柵、ワイヤー柵等の防護柵の設置補助を行う。 予算：事業費 24,168 千円(定額) ・ 主な事業内容： 電気柵 13,000m ワイヤー柵 23,000m	鳥獣被害防止総合対策整備事業 市内の農林産物をイノシシ、カラス等の被害から防除するため、電気柵、ワイヤー柵等の防護柵の設置補助を行った。 ・ 補助実績：11 件、事業費 2,075 千円（定額） ・ 主な事業内容： 電気柵 6 名 4,000m ワイヤー柵 5 名 2,000m		
	有害鳥獣被害防止施設整備事業 上記補助要件を満たさない事業について、市が単独で電気柵等の設置補助を行う。 ・ 予算：7～10 件、事業費 975 千円 （市補助 390 千円） ・ 主な事業内容：電気柵・ワイヤー柵	有害鳥獣被害防止施設整備事業 上記補助要件を満たさない事業について、市が単独で電気柵等の設置補助を行った。 ・ 補助実績：1 件、事業費 77 千円 （市補助 28 千円） ・ 主な事業内容：鳥獣対策機器		

主な事業		R 元年度計画	R 元年度実績	担当課
② 生産振興の強化	1. 環境保全型農業の推進			生産流通課
	土づくり推進対策事業		土づくり推進対策事業	
	土づくりを推進する施設である久留米市土づくり広場の維持管理を行う。 (予算 3,776 千円)		土づくりを推進する施設である久留米市土づくり広場の維持管理を行った。 (実績 3,259 千円)	
	土づくり広場農業体験業務委託		土づくり広場農業体験業務委託	
	市民に土づくり学習の機会や農業体験の場を提供し、環境保全型農業への理解を促進する。 ・ 内容：土づくりセンター見学、ジャガイモ等作付・収穫体験 (予算 1,000 千円)		市民に土づくり学習の機会や農業体験の場を提供し、環境保全型農業への理解を促進した。 ・ 内容：ジャガイモ、レンゲ等の作付・収穫等 (実績 829 千円)	
	環境保全型農業直接支払交付金		環境保全型農業直接支払交付金	
	環境保全に効果の高い営農活動に対して支援を行う。(カバークロップ、堆肥の施用、有機農業) ・ 補助率：国 1/2、県 1/4、市 1/4 ・ 予算 14,235 千円		環境保全に効果の高い営農活動に対して支援を行う。(カバークロップ、堆肥の施用、有機農業) ・ 補助率：国 1/2、県 1/4、市 1/4 ・ 補助実績 15 件 12,749 千円	
	2. 普通作の振興			生産流通課
	経営所得安定対策等推進事業		経営所得安定対策等推進事業	
	米の生産調整及び経営所得安定対策を実施する久留米市水田農業推進協議会の事務費を支援する。 (予算 35,126 千円)		米の生産調整及び経営所得安定対策を実施する久留米市水田農業推進協議会の事務費を支援した。 (補助実績 34,526 千円)	
良質米生産拡大支援事業		良質米生産拡大支援事業		
需要に応じた米生産への転換及び暑さに強く多収性の水稻品種の作付拡大を図るため、育苗に要する経費の一部を支援する。 (予算 2,980 千円)		需要に応じた米生産への転換及び暑さに強く多収性の水稻品種の作付拡大を図るため、育苗に要する経費の一部を支援した。 ・ 補助実績 1 団体 176 千円 (実りつくし：種子 31 件、苗 4 件)		
3. 園芸農業の振興			生産流通課	
野菜価格安定対策事業		野菜価格安定対策事業		
野菜の市場販売価格が一定価格を下回った際に、生産者に価格差補給を行なうための資金の造成を行い、野菜生産農家の経営安定と安定供給を図る。 (予算 6,070 千円)		野菜の市場販売価格が一定価格を下回った際に、生産者に価格差補給を行なうための資金の造成を行い、野菜生産農家の経営安定と安定供給を図った。 (資金造成額 132,256 千円、交付金額 63,825 千円(うち市負担分 5,943 千円))		

主な事業	R 元年度計画	R 元年度実績	担当課
② 生産振興の強化	地域特産物普及推進対策事業 緑花木や果樹の普及宣伝、消費拡大を促進する。 (5 団体、予算：3,433 千円) ・久留米つつじまつり、久留米菊花振興会 ・菊花展、グリーンフェスティバル ・【新規】福岡県苗木研究会	地域特産物普及推進対策事業 緑花木や果樹の普及宣伝、消費拡大を促進した。 (実績 5 団体、3,433 千円) ・久留米つつじまつり、久留米菊花振興会 ・菊花展、グリーンフェスティバル	みどりの里づくり推進課、生産流通課
	植木・花卉振興対策事業 生産団体が実施する栽培技術向上研修会等へ支援を行う。 (6 団体、予算：4,690 千円) ・福岡県苗木農協 ・くるめ緑花センター協同組合 ・久留米市植木農協 ・久留米花卉園芸農協 ・久留米市花き生産組合 ・久留米地域植木・花卉市場連絡協議会	植木・花卉振興対策事業 生産団体が実施する栽培技術向上研修会等へ支援を行った。 (補助実績 6 団体、4,642 千円) ・福岡県苗木農協 ・くるめ緑花センター協同組合 ・久留米市植木農協 ・久留米花卉園芸農協 ・久留米市花き生産組合 ・久留米地域植木・花卉市場連絡協議会	みどりの里づくり推進課
	4. 畜産の振興		
	優良乳用基礎雌牛導入事業 酪農経営における乳質、乳量の向上を図るため、優良雌牛及び受精卵の導入促進と酪農の生産振興を図る。 (予算 3,437 千円)	優良乳用基礎雌牛導入事業 酪農経営における乳質、乳量の向上を図るため、優良雌牛・受精卵の導入促進と酪農の生産振興を図った。 ・補助実績 優良雌牛 11 頭、受精卵 12 個 (市補助 2,902 千円)	生産流通課
	乳牛共進会事業 共進会の開催や出品を通じて、畜産技術の向上や後継者の育成を図るとともに、市民への畜産の理解促進や消費拡大を目指す。 (予算 451 千円)	乳牛共進会事業 新型コロナウイルスの影響で、共進会が中止となった。 ・補助実績なし（共進会中止の為）	
	酪農経営活性化推進事業 生産性の高い酪農経営を図るため、高度な経営や技術の指導、研修会等を実施し、酪農経営の合理化、安定化を図る。 (予算 813 千円)	酪農経営活性化推進事業 生産性の高い酪農経営を図るため、高度な経営や技術の指導、研修会等を実施し、酪農経営の合理化、安定化を図った。 ・補助実績 1 件、(市補助 813 千円)	
	酪農ヘルパー利用組合強化対策事業 酪農経営における定期的な休日確保ができる体制の整備を促進するため、ヘルパー組合に対して支援する。 (予算 2,924 千円)	酪農ヘルパー利用組合強化対策事業 酪農経営における定期的な休日確保ができる体制の整備を促進するため、ヘルパー組合に対して支援した。 ・補助実績 2 件、(市補助 2,924 千円)	

畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 畜産関係者が連携する畜産クラスターの仕組みにより、地域一体の収益力向上に必要な施設整備等に対して支援した。 ・補助率：国 1/2、市 1/20 ・補助実績 1 件、事業費 365,040 千円 (国補助 168,999 千円、市補助 16,899 千円)	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 R 元年度要望無し。	生産流通課
ふくおかの畜産競争力強化対策事業 畜産農家の飼養規模拡大や畜産物の生産量増加を図るため、畜舎や飼養管理機械等の整備に対して支援を行う。 ・予算 28 件、事業費 142,042 千円、 (県補助 47,342 千円、市補助 7,098 千円)	ふくおかの畜産競争力強化対策事業 畜産農家の飼養規模拡大や畜産物の生産量増加を図るため、畜舎や飼養管理機械等の整備に対して支援を行った。 ・補助実績 16 件、事業費 91,366 千円、 (県補助 27,948 千円、市補助 4,188 千円)	
博多和牛ブランド強化対策事業 県産ブランド肉牛「博多和牛」の生産拡大と、生産者の経営安定に資するため、もと牛(子牛)の購入経費に対して支援する。 ・予算 県補助 10,400 千円	博多和牛ブランド強化対策事業 県産ブランド肉牛「博多和牛」の生産拡大と生産者の経営安定に資するため、もと牛(子牛)の購入経費に対して支援を行った。 ・補助実績 2 件、頭数 140 頭 (県補助 7,280 千円)	
畜産経営環境整備施設改善事業 畜産農家が行う畜産施設の家畜糞尿処理改善に対して支援を行う。 (予算 1,000 千円)	畜産経営環境整備施設改善事業 畜産農家が行う畜産施設の家畜糞尿処理改善に対して支援を行うもの。 ・補助実績 1 件、(市補助 120 千円)	

5. その他

雇用型農業の推進 ＜雇用幹旋組織との連携＞ 昨年に引き続き、農業者等の雇用確保に向けたシステムを構築するため、シルバー人材センター、就労継続支援事業所等と連携し、現地講習会や部会の実演会を行う。 (事業主体：久留米市農業振興協議会雇用型経営推進 PJ、JA くるめ)	雇用型農業の推進 農作業参入を希望している事業所を対象に農作業内容を紹介するなどの説明会を開催した。また、希望する事業者には、現地見学会を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 ・R1.8 説明会 10 事業所 (イチゴ・菊などの作業 DVD を活用した説明) ・R1.12 ヒヤリング 4 事業所 (経験、事業所の現状、可能性など聴き取り) (事業主体：久留米市農業振興協議会雇用型経営推進 PJ、JA くるめ)	農政課 ・生産流通課
試験研究機関等との連携 ＜連携会議の開催＞ 各機関の取組状況等の情報交換・意見交換等を実施する。	試験研究機関等との連携 実績なし。	農政課

② 生産振興の強化

各地域の生産振興の取組

各地域の特色ある生産振興を図るため、各地域の協議会が主体となって新規作物の導入や新技術の導入などの実証実験を行う。
(予算 1,244 千円)

各地域の生産振興の取組

各地域の特色ある生産振興を図るため、各地域の協議会が主体となって新規作物の導入や新技術の導入などの実証実験を行った。(補助実績 1,244 千円)

- ・久留米市農業振興協議会
- ・J A にじ管内農業振興協議会
- ・三井地区農業振興協議会
- ・大川・城島・大城地区営農推進協議会

農政課

基本施策Ⅲ：【農業】競争力のある産地の育成

個別施策 7：販売力の強化

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値
久留米ブランド農産物の認知度	%	—	51	43.9	46.9	46.5	48.9	60

主な事業	R 元年度計画	R 元年度実績	担当課
------	---------	---------	-----

① 流通環境の整備	1. 流通環境の整備		
	強い農業づくり交付金 地域における生産から流通・消費までの対策を総合的に推進する。 卸売市場の施設整備 施設の適正な維持管理のため、機械設備や施設の改修を計画的に実施する。 【主な改修工事】 ・低温倉庫シートシャッター改修工事 (予算 16,244 千円) ・新物流センター空調機改修工事 (予算 25,641 千円) ・卸売場照明改修工事 (予算 28,127 千円) ・活魚施設鉄骨柱・照明改修 (予算 47,959 千円)	強い農業づくり交付金 実績なし。 卸売市場の施設整備 【主な改修工事】 ・低温倉庫シートシャッター改修工事 (事業費 20,126 千円) ・新物流センター空調機改修工事 (事業費 18,125 千円) ・卸売場照明改修工事 (事業費 15,101 千円) ・活魚施設鉄骨柱・照明改修 (事業費 37,657 千円)	生産流通課 中央卸売市場

② ブランド化の推進	1. ブランド化の推進		
	「キラリ久留米」ロゴマークを活用した久留米産農産物の認知度向上 ・ロゴマークの導入支援 (予算 4 団体、1,200 千円) ・市内直売所などでの掲示支援 (計画 食品スーパー3 店舗) 久留米産農産物の PR (事業主体：販売力強化推進協議会) ・市民大感謝祭市場まつりでの PR ・シティープロモーション連携イベント ・くるめゴルフフェア ・キラリ久留米農産物マルシェ ・H31.3.19 (春)キラリ久留米農産物マルシェ	「キラリ久留米」ロゴマークを活用した久留米産農産物の認知度向上 ・ロゴマークの導入支援 補助実績 2 団体、618 千円 (現在 38 品目 6 団体導入済み) ・市内直売所に PR 資材設置 R 実績 スーパー2 店舗、道の駅 1 店舗 (R1 年度末 7 店舗設置済) 久留米産農産物の PR (事業主体：販売力強化推進協議会) ・R1.9.1 久留米フェスティバル in 天神 ・R1.11.3 市民大感謝祭市場まつり ・R2.1.21 おいでよ！春の久留米キャンペーン ・R2.1.24~3.8 くるめゴルフフェア ・R2.2.1 キラリ久留米農産物フェア(ゆめタウン博多) ※キラリ久留米農産物フェア(ゆめタウン久留米)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	農政課

主な事業	R 元年度計画	R 元年度実績	担当課
② ブランド化の推進	・【新規】福岡都市圏での大型ビジョンCM 放映 (再掲) (予算：2,750 千円) 農産物 PR 動画等を福岡都市圏の大型ビジョンや西鉄電車の車内ビジョンで放映することで、福岡都市圏の消費者等へ農業都市くるめのイメージ向上・定着を図り、久留米産農産物のブランド化へとつなげる。 (予定) ・ソラリアビジョン 7 月・9 月 ・西鉄電車車内ビジョン 7～10 月	・【新規】プロモーション動画を活用したメディアCM (再掲) (決算：2,615 千円) 農産物 PR 動画等を福岡都市圏の大型ビジョンや西鉄電車の車内ビジョンで放映することで、福岡都市圏の消費者等へ農業都市くるめのイメージ向上・定着を図り、久留米産農産物のブランド化へとつなげた。 ・ソラリアビジョン 放映期間：7 月・10 月 放映回数：8 時～21 時で 15 分に 1 回 (延べ 11,520 回) ・西鉄電車 9000 形車内ビジョン 放映期間：7 月・8 月・10 月・11 月 放映回数：5 時～24 時 30 分で 3 分に 1 回 (延べ 46,800 回)	農政課
	<u>特定品目によるブランド農産物の育成</u> <u><トップセールス></u> ・大都市圏（想定：東京、大阪、福岡）の市場関係者への PR を継続的に実施し、農業者・農業団体、行政が一体となって、久留米産農産物の魅力を PR する。 ・【新規】東京にある福岡県アンテナレストランを活用したトップセールスの実施 ・各 JA の販売戦略に応じたトップセールスの実施 <u><特定品目の選定・PR></u> ・リーフレタス、サラダ菜を中心に PR を行う。 <u><久留米産農産物ポスターの制作></u> 久留米産農産物を PR するため、春・夏 Ver のポスターを制作する	<u>特定品目によるブランド農産物の育成</u> <u><トップセールス></u> ①日 時：R1.10.18（金） 場 所：福岡市中央卸売市場 内 容：太秋柿のトップセールス、試食宣伝会 参加者：久留米市長、うきは市長、JA にじ代表理事組合長、JA にじ柿部会長 ②日 時：R1.11.26（火） 場 所：大阪市中央卸売市場 内 容：リーフレタス、サラダ菜のトップセールス、試食宣伝会 参加者：久留米市長、JA くるめ代表理事組合長、JA くるめ園芸作物部会長研究会会長連絡協議会会長 ③日 時：R2.2.4（火） 場 所：福岡県アンテナレストラン「福扇華」 内 容：「久留米の農産物魅力発信フェア」を実施。併せて藤吉久美子氏の「くるめ農産物 PR アンバサダー」の委嘱式を実施。 対象者：流通関係者(卸・仲卸・バイヤー)32 人 参加者：久留米市長、5 JA 組合長、藤吉久美子 <u><久留米産農産物ポスターの制作></u> 久留米産農産物を PR するため、昨年作成した秋・冬 Ver のポスターに続き、春・夏 Ver のポスターを制作した。	

主な事業		R 元年度計画		R 元年度実績		担当課	
③ 6次産業化の推進	1. 異業種間の情報・意見交換による事業促進						
	久留米地域農商工連携・6 次産業化ビジネス交流会 農林漁業者、商工業者を対象とした交流会や、新しい連携の掘り起こしを行う。 日時：R1.11（予定） 場所：久留米ビジネスプラザまたは久留米シティプラザ 内容： ① 農商工連携セミナー、相談会 ② グループワーク ③ ブース展示 ④ 交流会 （事業主体：久留米市農商工連携会議）			久留米地域農商工連携ビジネス交流会 久留米広域連携中枢都市圏取組（4市2町） 開催日：R1.11.22、参加者136人 場所：久留米ビジネスプラザ ①農商工連携セミナー：「食品販売のコンプライアンス」 ②ビジネスセミナー： （1）「Iotを活用した簡単農作業記録」 （2）「数ある農業ITツールの選び方、活用方法」 ③展示相談会 ④農産加工品の展示 （事業主体：久留米市農商工連携会議）			農政課
	食と農の連携強化事業 農業と医療機関の連携をテーマとした推進グループへ、WGで柿以外の導入品目を検討し、病院給食への複数品目での久留米産農産物の導入を目指す。			食と農の連携強化事業 病院食への久留米産農産物の導入についてWGで、久留米産梨の長期導入を行った。 （実績：1 病院 2 施設に対して、久留米産梨を8～10月までの3ヶ月で1,774個導入）			
	2. 商品開発や販路開拓の資金面からの支援						
	6 次産業化推進事業費補助金 農業者及び農業団体等が久留米産農産物を活用した農産加工品の開発や販路拡大に係る取組及び加工商品・販売内容の改良に係る取組について、支援を行う。 （予算 3,300 千円） ・商品開発支援 上限 300 千円 ・販路拡大支援 上限 500 千円 ・商品改良支援 上限 300 千円			6 次産業化推進事業費補助金 補助実績 ・商品開発支援 実績 2 件（584,241 円） ・販路拡大支援 実績 2 件（217,530 円） ・商品改良支援 実績 1 件（300,000 円）			農政課
	農商工連携会議プロジェクト （事業主体：久留米市農商工連携会議） 農業者と商工業者が連携して取り組む商品化や事業化に対して支援を行う。 （予算 1,000 千円）			農商工連携会議プロジェクト （事業主体：久留米市農商工連携会議） 「ほとめきそばプロジェクト」が行った、新パッケージの開発及び、ポスター等の作成を支援した。 （補助実績 500 千円）			

主な事業	R 元年度計画	R 元年度実績	担当課
④ 海外への販路拡大支援	1. 輸出に取り組む農業者への支援		
	<u>輸出に取り組む農業者の人材育成・支援事業</u> JETRO（日本貿易振興機構）から講師を派遣して農産物輸出の基礎的な研修会を開催する。 実施回数：6 回（各 JA 単位で 1 回予定） 対象者：農業者・農業法人、農業団体	<u>輸出に取り組む農業者の人材育成・支援事業</u> JETRO（日本貿易振興機構）から講師を派遣してもらい、農産物輸出の基礎的な研修会を実施し、輸出に取り組むきっかけ作りを行った。 実施回数：4 回 （旧久留米地区 8/9、三潞地区 8/30、田主丸地区 1/21 城島地区 1/22、） 受講者数：47 名	農政課
	<u>商談会等出展支援事業</u> 食品見本市や展示会等に出展し、販路開拓に取り組む農業者等を支援する。 ・補助率：1/2 上限 100 千円 （予算 700 千円）	<u>【拡充】商談会等出展支援事業</u> 食品見本市や展示会等に出展し、販路開拓に取り組む農業者等を支援。 ・補助率：1/2 上限 100 千円 ・補助実績：4 件 280 千円	
	<u>シンガポールにおける「九州フェア」PR 支援</u> 目的：シンガポールでのフェアに参加し、将来的な商ベースでの販路開拓・確保につなげる。 時期：令和 2 年 1 月頃 会場：明治屋シンガポール店 出展対象：26 年度から実施している輸出研修の参加者および市内の JA （事業主体：久留米市農産物販売力強化推進協議会）	<u>シンガポールにおける「九州フェア」PR 支援</u> 明治屋シンガポール「九州フェア」に出展する農業者を支援。 時期：R2.2.14~23（10 日間） 会場：明治屋シンガポール店 輸出研修を参加者であった農業者 1 名が現地で冷蔵柿を PR（3 日間）	
	<u>農産物の輸出支援事業補助金</u> 農業団体等が輸出に取り組む際の支援 ・補助率：1/2 上限 500 千円／団体 上限 200 千円／個人 （予算 1,400 千円）	<u>【拡充】農産物の輸出支援事業補助金</u> 農業団体等が輸出に取り組む際の支援 ・補助率：1/2 上限 500 千円／団体 上限 200 千円／個人 ・補助実績： 1 農家 70 千円	

【基本施策Ⅲ「競争力のある産地の育成」：R2 年度施策の方向性】

＜生産力の強化＞

国県事業を積極的に活用し、農業機械の導入や施設整備への支援を行うとともに、農業団体等が取り組む生産振興への支援や有害鳥獣対策などに取り組む。特に、国庫事業の「産地パワーアップ事業」や県の「活力ある高収益型園芸産地育成事業」等を活用して、早期に機械や施設の導入ができるよう支援を行う。

また、農業における担い手の減少や高齢化を踏まえ、ICT 技術を活用したスマート農業機械の導入とともに、新たな栽培管理技術体系の実証を行うことにより、経営規模の拡大、省力化を進め、生産者の所得の向上を図る。

＜販売力の強化＞

ブランド化は、「久留米産農産物の認知度及びイメージの向上」「特定品目による久留米ブランド農産物への支援」を2つの柱として取り組んだ。久留米産農産物プロモーション動画による福岡都市圏の消費者に向けた積極的な情報発信によるイメージ向上や、市内直売所等店頭での「久留米産」表示の強化を行い、認知度向上を図った。また「リーフレタス」と「サラダ菜」をトップセールスやイベント等でPRし、ブランド農産物としての育成に取り組んだ。

しかしながら、依然として、市政アンケートモニター調査結果によると、「農業都市への市民の認知度」は6割程度、「久留米ブランド農産物の市民の認知度」は5割弱に留まっている状況であることから、今後は、特定の農産物のブランド化を推進するのではなく、本市の多彩な農産物や地域資源など、農業都市としての総合的な魅力を発信することで、福岡県内第1位の農業産出額を誇る農業都市としてのブランド力の向上に努める。

農商工連携・6次産業化は、久留米地域農商工連携ビジネス交流会を開催し、久留米地域の農林漁業者や商工業者がビジネス交流できる機会を提供し、農商工連携や6次産業化の掘り起こしを行う。また事業化にあたっては、6次産業化プランナー等の専門家によるアドバイスを行いながら支援する。

海外へ販路開拓支援は、JETRO（日本貿易振興機構）に講師を派遣してもらい、JAの職員や生産部会員などを対象に研修会を開催し、輸出に取り組む機会の提供を行う。

基本施策Ⅳ：【農業】持続可能な農業生産基盤の確立

個別施策 8：農業生産基盤の整備

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値
農業生産基盤整備の面積	ha	5,183.9	5,183.9	5,182.5	5,182.5	5,182.5	5,211	5,211

主な事業	R 元年度計画	R 元年度実績	担当課
------	---------	---------	-----

1. 計画的な整備・改修

①農業生産基盤の整備・改修

1. 計画的な整備・改修

経営体育成基盤整備事業

・住吉地区の換地処分を実施する。
・他の事業推進地区の実施に向けた権利関係者の意向聴取に取り組む。
(住吉地区経営体育成基盤整備事業費負担金：1,000千円)

農地耕作条件改善事業

国事業を活用して土地改良区等が事業主体となって取り組む暗渠排水施設の再整備等を支援する。
(農地耕作条件改善事業費補助金：1農業法人への補助金、28,750千円)

農村総合整備事業・クリーク防災機能保全対策事業

農業生産性の向上や災害の未然防止などの安全性向上に取り組む。
(県営農村振興総合整備事業費負担金：124,316千円)
(県営クリーク防災機能保全対策事業費負担金：156千円)
＜工種別事業費＞

工種	箇所数	整備延長(m)	事業費(千円)
農道	8	3,220	114,500
用排水路	7	2,960	275,000
集落排水路	0	0	0
防火水槽	3	—	1,800
クリーク 仕上工事	—	—	10,000

農業用施設整備事業他

農業振興を図る地域において、道路・水路網を整備することで、高生産性農業の促進および、農業の近代化と農村環境の改善を図った。
＜工種別工事費＞

工種	箇所数	整備延長(m)	事業費(千円)
農道	25	5,149	82,858
用排水路	15	1,239	70,495
ため池	1	—	42,000

経営体育成基盤整備事業

・住吉地区の換地処分に係る手続きを実施した。
・他の事業推進地区の実施に向けた権利関係者の意向聴取に取り組んだ。
(住吉地区経営体育成基盤整備事業費負担金：875千円)

農地耕作条件改善事業

国事業を活用して土地改良区等が事業主体となって取り組む暗渠排水施設の再整備等を支援した。
(農地耕作条件改善事業費補助金：1農業法人への補助金、25,794千円)

農村総合整備事業・クリーク防災機能保全対策事業

農業生産性の向上と、災害の未然防止などに資する整備に取り組んだ。
(県営農村総合整備事業費負担金：119,750千円) ※H30国補正含む
(県営クリーク防災機能保全対策事業費負担金：506千円)
＜工種別事業費＞

工種	箇所数	整備延長(m)	事業費(千円)
農道	8	3,335	222,047
用排水路	7	2,953	245,480
防火水槽	1	—	8,694
クリーク 仕上工事	—	—	28,715

農業用施設整備事業他

農業振興を図る地域において、道路・水路網を整備することで、高生産性農業の促進および、農業の近代化と農村環境の改善を図る取組を行う。
＜工種別工事費＞

工種	箇所数	整備延長(m)	事業費(千円)
農道	18	5,761	91,069
用排水路	12	1,612	69,500
ため池	0	—	0

農村整備課

主な事業	R 元年度計画	R 元年度実績	担当課
① 農業生産基盤の整備・改修	<u>小規模農業用施設整備事業</u> 小規模な農道・用排水路について、整備を促進することにより農地集積を加速させ農業経営強化を図る。 （予算 102,560 千円）	<u>小規模農業用施設整備事業</u> 小規模な農道・用排水路について、整備を促進することにより農地集積を加速させ農業経営強化を図った。 （事業費 66,353 千円）	農村整備課
	1. 計画的な整備・改修 <u>農業水利施設保全対策事業</u> 国・県営土地改良事業により造成された農業用水利施設について、施設の長寿命化の観点によりの確な予防保全を施す。 ・4 地区の施設（揚水機場・ゲート・排水機場・用水路）の予防保全対策工事 ・事業費： 82,000千円 ・地元負担金： 25,500 千円	<u>農業水利施設保全対策事業</u> 国・県営土地改良事業により造成された農業用水利施設について、施設の長寿命化の観点によりの確な予防保全を施した。 ・4地区の施設（揚水機場・ゲート・ファームポンド）の予防保全対策工事 ・事業費： 68,500千円 ・地元負担金： 17,125千円	
② 農業用施設の長寿命化の推進			

基本施策Ⅳ：【農業】持続可能な農業生産基盤の確立

個別施策 9：優良農地の確保

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値
耕作放棄地の面積	ha	93 (H26)	98.2	91.8	111.8	104.2	104.3	88.2

主な事業	R 元年度計画	R 元年度実績	担当課
------	---------	---------	-----

1. 農業振興地域整備計画事業

農用地利用計画の一部変更

農振法の規定や市ガイドラインに基づき適切に整備計画の管理を行う。

農用地利用計画の一部変更

農振法の規定に基づき適切に整備計画の変更を行った。

・除外 13 件、14,999.5 m²

農政課

2. 農地法の運用

農地の転用など、農地法に基づき農業委員会総会等で十分な審査を行うとともに、転用地について農業上の利用に支障が少ない農地に誘導するなど、農地と農地以外の土地利用との調整を図る。

農地法に基づき農業委員会総会等で十分な審査を行った。

・農地法 4 条許可 46 件 4.8ha
・農地法 5 条許可 171 件 14.3ha
内、第 1 種農地 80 件 4.8ha

農業委員会事務局

1. 関係団体と連携した取組

耕作放棄地の実態調査・利用意向調査

・耕作放棄地の実態を把握するため「利用状況調査」並びに「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」を実施する。

(R1.7～9 予定)

・農業委員会による農地パトロールを、年間を通じて行い耕作放棄地の発生を未然に防止する。

・耕作放棄地の所有者へ「利用意向調査」を行い意向に沿った対応を行う。また、自ら耕作できない所有者には、担い手への農地貸付をあっせんするなど、営農再開に向けて取り組む。

・農業委員会・市・県・JA 等で構成する「久留米市農地利用最適化推進協議会」において、耕作放棄地（遊休農地）対策を含め、農地利用の最適化へ向け、現状や課題の共有を行う。

耕作放棄地の実態把握・解消指導

・耕作放棄地の実態を把握するため「利用状況調査」並びに「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」を実施した。

(R1.8～9)

・耕作放棄地の発生を未然に防止するため、農業委員及び、新たに設置した農地利用最適化推進委員による農地パトロールを、年間を通じて行った。

・耕作できない所有者については、農地中間管理事業の利用を促したり、担い手への農地貸付をあっせんするなど、営農再開に向けて取り組んだ。

・耕作放棄地の解消や発生防止、再生利用営農定着を図るため、久留米市農地利用最適化協議会を開催する予定であったが、コロナウィルス感染拡大防止のため中止した。

農業委員会事務局
・農政課

① 優良農地の確保

② 耕作放棄地の発生抑制と解消

② 耕作放棄地の発生抑制と解消

2. 耕作放棄地の再生利用に向けた取組

市事業による再生利用支援

国の事業が終了するため、新たに市独自の支援制度を創設し、農業者による耕作放棄地の再生利用を促進する。

- ・補助率：事業費の 1/2（上限 1,000 千円）
- ・予算額：4,000 千円

荒廃農地再生事業費補助金

新たに市独自の支援制度を創設し、農業者による耕作放棄地の再生利用の取組を促進した。

- ・補助率：事業費の 1/2（上限 1,000 千円）
- ・実績：5 件 130a
- ・補助額 4,000 千円

農政課

【基本施策Ⅳ「持続可能な農業生産基盤の確立」R2 年度施策の方向性】

生産効率の高い農業構造の実現を図るため、ほ場の区画整理、大区画化・農道や用排水路の整備を行ってきた。農業に対する先行きの不安感や事業費の地元負担などの理由から、ほ場整備事業に対する関心は低い状況にあるが、関係者の理解促進並びに農地中間管理機構を活用した農地整備事業による地元負担軽減の取り組み等を提案しながら事業推進に取り組む。

土地改良事業実施済区域においては、農地耕作条件改善事業による暗渠排水施設の再整備を進め、引き続き、水田の汎用化、農業生産性の向上を図っていく。

農業水利施設保全対策事業については、県や土地改良区等施設管理者と連携しながら、農業水利施設の長寿命化等の適切な予防保全を図っていく。

優良農地の確保については、農業委員会による「農地パトロール（利用状況調査）」、市による「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」により、農地の状況を把握し、市の補助事業等を活用しながら耕作放棄地の発生防止や解消に取り組む。また、耕作放棄地（遊休農地）対策を含めた、農地利用最適化を推進するため、「久留米市農地利用最適化協議会」を開催し、現状や課題の共有化などを行う。今後も、地域の特性に応じた耕作放棄地対策に取り組むとともに、農地法や農振法に基づき農地と農地以外の土地利用の調整を図っていく。

基本施策Ⅴ：【農村】多面的機能の発揮と農村地域の活性化

個別施策 10：多面的機能の発揮と農村の環境整備

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値
多面的機能の維持に取り組む地域活動面積の割合	%	56	58	60	60	61	60	75

主な事業	R 元年度計画	R 元年度実績	担当課
------	---------	---------	-----

1. 多面的機能の維持発揮への支援

① 多面的機能の発揮	多面的機能支払交付金事業 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の協働活動への支援を行う。 ・補助率：国1/2、県1/4、市1/4 ・交付予算：318,662千円（対象102組織） （内、市補助79,666千円）	多面的機能支払交付金事業 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の協働活動への支援を行った。 ・補助率：国1/2、県1/4、市1/4 ・交付実績：286,052千円（対象100組織） （内、市補助71,513千円）	農村整備課
	中山間地域等直接支払交付金事業 田主丸町の生産条件が不利な中山間地域の生産コストを支援し、農業生産の維持や多面的機能の確保を図る。 ・補助率：国1/2、県1/4、市1/4 ・集落協定：6集落 森部、石垣、大井、二田、益永、麦生 ・参加農家：394戸 ・対象農用地：135ha ・事業費：交付金10,942千円（市補助2736千円） 推進交付金555千円（市補助145千円）	中山間地域等直接支払交付金事業 R1年度は、第4期協定の5年目であり、地域の農業生産活動の継続に対して支援を行った。 ・補助率：国1/2、県1/4、市1/4 ・集落協定：6集落 森部、石垣、大井、二田、益永、麦生 ・参加農家：395戸 ・対象農用地：134ha ・事業費：交付金10,733千円（市補助2,683千円） 推進交付金523千円（市補助168千円）	農政課 ・田主丸産業振興課

1. 安全施設・表示の設置

② 安全な農村環境づくり	農道等の安全対策 農道へガードレールやカーブミラーなどの交通安全施設を設置することにより、事故の未然防止を図る。 （安武町他） ・ガードレール設置 L=110.0m ・道路反射鏡、路面表示設置等 3箇所 （予算3,220千円）	農道等の安全対策 農道へガードレールやカーブミラーなどの交通安全施設を設置することにより、事故の未然防止を図った。 （大善寺町他） ・ガードレール設置 L=90.7m ・路面表示、道路反射鏡設置等 16箇所 （実績3,219千円）	農村整備課
	ため池の安全対策 設置済のフェンスや注意喚起看板などの安全施設の点検パトロールを実施し、安全管理の徹底に努める。	ため池の安全対策 設置済のフェンスなどの安全施設の点検パトロールを実施し、安全管理の徹底を図った。	農村整備課

主な事業	R 元年度計画	R 元年度実績	担当課
③ 農村生活環境の整備	農業集落排水処理施設の維持管理 農業集落排水処理施設の適正な維持管理を行うことで、農業用排水路の水質保全や農村生活環境の改善を図る。 (予算 250,000 千円)	農業集落排水処理施設の維持管理 農業集落排水処理施設の適正な維持管理を行うことで、農業用排水路の水質保全や農村生活環境の改善を図った。 (実績 : 238,179 千円)	上下水道部 下水道整備課、 下水道施設課

基本施策Ⅴ：【農村】多面的機能の発揮と農村地域の活性化

個別施策 11：農村地域の活性化

目標項目	単位	現状値	H27	H28	H29	H30	R1	目標値
耳納北麓地域の交流人口	万人	180 (H25)	205 (H26)	203 (H27)	199 (H28)	192 (H29)	192 (H30)	230

主な事業	R 元年度計画	R 元年度実績	担当課
① みどりの里づくりの推進	耳納北麓地域農業体験事業 耳納北麓地域の素材（緑花木、果樹、野菜等）を活用し、農業の生産から収穫に至る過程を体験することを通じ、農業を主体とした経済活性化を図る。 今後、体験メニューの充実を図る。 また、農家民泊の事業実施の推進を行う。	耳納北麓地域農業体験事業 ＜くる農＞ 耳納北麓地域の素材（緑花木、果樹、野菜等）を活用し、農業の生産から収穫に至る過程を体験することを通じ、農業を主体とした経済活性化を図るため、地域生産者の農業体験を行った。（一部新型コロナウイルス感染症対策等のため中止） （14 農家 39 プログラム、参加者 352 人） ＜泊まらん農＞ 農家民泊に関する研修と受入を実施した。（受入農家：7 農家、受入実績 49 人）	みどりの里づくり推進課
	【新規】農家民泊施設整備支援事業 農家民泊の実施に必要な施設改修に対して支援する。 （予算 600 千円）	農家民泊施設整備支援事業 農家民泊の実施に必要な施設改修に対して支援を行った。 （実績 1 件 200 千円）	
	フルーツ観光農園整備事業 市内のフルーツ観光を推進するため、農園内の施設及び機器の整備について支援する。（予算 3,500 千円）	フルーツ観光農園整備促進事業 市内のフルーツ観光を推進するため、農園内の施設及び機器の整備について支援した。（補助実績 12 件 2,877 千円）	
	つばき園の植栽管理 つばき園の適切な植栽管理を行い緑花木産業の振興を図る。 （予算 5,620 千円）	つばき園の植栽管理 つばき園の適切な植栽管理を行い緑花木産業の振興を図る。 （実績 5,450 千円）	
	拠点施設の管理運営 指定管理者による、管理運営を行う。 ・指定管理者：（一財）久留米市みどりの里づくり推進機構 ・道の駅くるめ ・久留米ふれあい農業公園	拠点施設の管理運営 指定管理者制度による、管理運営を行った。 ・指定管理者：（一財）久留米市みどりの里づくり推進機構 ・道の駅くるめ ・久留米ふれあい農業公園	
	つつじの名所再整備事業 市の花「久留米つつじ」の名所を再整備し、つつじの生産振興を図る。 ・久留米森林つつじ公園 ・筑後川くるめつつじ園 （予算：12,000 千円）	つつじの名所再整備事業 市の花「久留米つつじ」の名所を再整備し、つつじの生産振興を図った。 ・久留米森林つつじ公園 ・筑後川くるめつつじ園 （実績：11,212 千円）	

主な事業	R 元年度計画	R 元年度実績	担当課
------	---------	---------	-----

① みどりの里づくりの推進	緑花木販路拡大支援事業 緑花木の振興を図るため、農業団体等が実施する見本市等への出展に対して支援する。 (予算：500 千円)	緑花木販路拡大支援事業 緑花木の振興を図るため、見本市等への出展に対して支援した。 (実績 5 件 178 千円)	みどりの里づくり推進課
------------------	--	--	-------------

② 農業・農村の資源の活用	1.九州大学との連携事業		
	農村地域の活性化策の検討 九州大学の調査・検証委託を踏まえ、みどりの里づくりエリアを生かして、地域活性化策の検討を行う。	農村地域の活性化策の検討 みどりの里づくりエリアを中心に地域資源の調査及び人を呼び込む地域活性化策の調査結果を踏まえ、検討を行った。	みどりの里づくり推進課

【基本施策Ⅴ「多面的機能の発揮と農村地域の活性化」：R2 年度施策の方向性】 農業・農村の有する多面的機能を維持・発揮するため、国事業等を活用し、農業者だけでなく地域ぐるみの協働活動の拡大を図るとともに、農道等の安全対策を通じて安心・安全な農村環境づくりに取り組む。 また、農家民泊や耳納北麓地域農業体験事業などに取り組むとともに、豊かな自然やフルーツ農園など魅力ある地域資源を有している、みどりの里づくりエリアを中心とした農村地域に、人を呼び込み、農業をはじめとした地域産業の活性化（振興）を図っていくため、九州大学等と連携して、6次産業化など新たな産業の創出に取り組んでいく。			
---	--	--	--